



広島県立

広島叡智学園

中学校・高等学校

学校案内



校長からのメッセージ



福嶋 一彦
Kazuhiko Fukushima
広島叡智学園中学校・高等学校 /
HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY(HiGA)校長

広島叡智学園は、「社会の持続的な平和と発展に向け、世界のどこにおいても地域や世界の『よりよい未来』を創造できるリーダーを育成する」ことをビジョンに掲げ、平成31年(2019年)4月にここ大崎上島に開校した全寮制の併設型中高一貫教育校です。本年度第3期生を迎え、いよいよ中学校の3学年の生徒が揃う年となりました。

生徒たちは、外国人講師と日本人教師が協働して行う指導の下、IBの教育プログラムを主なツールとした探究的な学びなど、特色ある学習活動に積極的に取り組んでいます。

また、寮生活では生徒の心と体の成長を土台から支えています。高等学校段階から迎える海外留学生等とともに学年や文化の壁を越えて支え合い、共に学び、生活することのできる寮となるよう、教職員と寮職員が力を合わせて歩みを進めてまいります。

近い将来、この恵まれた自然と学習環境の中で生徒たちが「未来に向かう学び」を実現し、「世界へと続く扉」を自らの手で開き、大崎上島から世界へ、グローバルリーダーとして巣立っていくことを心から願っています。

福嶋 一彦

キャロルさんからのメッセージ

広島叡智学園中学校・高等学校の一員となれたことを大変嬉しく思います。

生徒の学びを学術的に支援することはもちろんのこと、すべての生徒の幸せのために、社会的、倫理的な側面においても、生徒が成長していけるよう、全力を尽くします。

I am very honored to be able to join Hiroshima Global Academy as senior director and am looking forward to contributing to the development of a school culture and community that nurtures the well-being of all students, not only in the academic sphere but also in the social, emotional and ethical spheres.



キャロル・犬飼・ディクソン
Carol Inugai Dixon
日本国際バカロレア教育学会会長 /
筑波大学客員教授 / 広島叡智学園中
学校・高等学校シニア・ディレクター

MISSION

ミッション

学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となることを目指す

TO BE A GLOBAL LEADER IN BUILDING PEACE WITH THE POWER OF "LEARNING".

VISION

ビジョン

社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成する

TO FOSTER LEADERS WHO CREATE IN THEIR COMMUNITY "A BETTER FUTURE" FOR PEACE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT.

「学びの変革」の目指すべきモデルとなる

TO BE AN EXCELLENT MODEL IN "LEARNING INNOVATION".

VALUES

バリュー

「グローバルな視野」と「地域に根ざした心」の双方を大切にし、主体的に学び続ける「ラーニングコミュニティ」を形成する

TO BE A LEARNING COMMUNITY WHOSE GLOBAL VISION IS ROOTED IN LOCAL CONTEXT.

重点的に育成する力

様々な場面で活用できる
知識・技能の
深い理解

新しい価値を生み出す
創造的・批判的
思考力

異なる文化・価値観を
持つ人々と
協働する力

目標に向かって
やり抜く力・自信

日本語でも英語でも
議論・協働できる
高い語学力

これらの特色を全て
備えた公立学校は全国初!

5つの特色

広島叡智学園は

「世界中のどこにおいても、地域や世界の“よりよい未来”を創造できるリーダー」

を育成する、全寮制の県立中高一貫教育校です。

広島叡智学園には「未来に向かう学び」と「世界へと続く扉」があります。

1.

国際バカロレア認定校 (MYP及びDP)

2.

実社会の課題解決に挑戦する
国際協働型プロジェクト学習

3.

少人数授業やオンライン交流
などによる英語力の育成

4.

学年を超えた仲間や留学生との
共同生活を行う全寮制での学習・生活

5.

外国人留学生の受入など、
多様性あふれる学習環境

広島叡智学園の 国際バカロレア (IB) の特色



国際バカロレア

国際バカロレアとは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムのことです。国際バカロレア（IB: International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「IBとは」より

国際バカロレア認定校 (IB World School)

国際バカロレア認定校 (IB World School) とは、国際バカロレア機構から、国際バカロレアを実施する環境・体制等が整っていると認定された学校のことです。

MYP (中等教育プログラム)

MYP (Middle Years Programme) は、11歳～16歳までを対象としており、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラムです。これらを通じて、MYPでは、知識を統合された総合的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「MYP (ミドル・イヤーズ・プログラム)」より

DP (ディプロマ・プログラム)

DP (Diploma Programme) は16歳～19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を取ると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラムです。「日本語 DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施されます。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「DP (ディプロマ・プログラム)」より



全生徒がディプロマ取得を目指します

広島叡智学園中学校・高等学校は、2020年10月にIBのMYP（中等教育プログラム）、2021年5月にDP（ディプロマプログラム）の認定校となったIB World Schoolです。入学時の中学1年生から卒業する高校3年生までの間に、在籍する全ての生徒が一貫したIBの教育プログラム (MYPとDP)を履修するのは、日本の公立学校で初めてです。

本校では、中学校1年生から高校1年生冬までの期間にMYP、高校1年生冬から高校3年生冬までの期間にDPを履修します。

MYPで学び方、学ぶ目的を考えます

本校では、全寮制という環境を最大限に活用し、生徒の学びと日常生活とを関連づけることで、生徒が学ぶことの意義を実感できるように工夫しています。例えば、中学校1年次には、数学と保健体育に渡る学際的単元として「統計を用いた体力向上プランづくり」に取り組みます。この単元では、まず生徒は体力テストを実施し、その結果を集計・数値化した上で、統計的な手法を用いて分析をします。その後、その分析結果から自身の体力を向上させるためのトレーニング方法を考察し実践します。

このように、本校では、ある教科、更には教室だけで学びが完結するのではなく、様々な場面に応用できる学びを目指して取り組んでいます。

MYPとの接続を生かしてDPで深く学びます

DPでは、MYPで身につけた学び方を生かし、より学術的で探究的な学習に取り組みます。例えば、社会科の冷戦を扱う授業では、MYP段階では、自分たちで調べた冷戦に関する情報などをもとに、「本当にそうなの？」や「なんでなんだろう？」という視点から、歴史的見方・考え方、文化の多様性への理解などを深めます。DP段階になると、冷戦時代の出来事だけではなく、その発端としての第二次大戦で米ソが手を組めた理由などの冷戦の背景についても考察することで、自分たちの冷戦に関する解釈を構築していきます。

このように、本校では、中高一貫して全ての生徒がIBを通して深く学ぶことにより、一生涯学び続ける学習者の育成を目指しています。

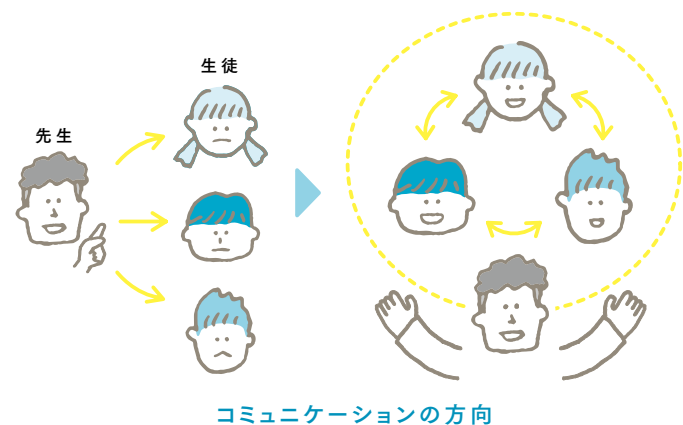


生徒の意見と
自己決定を尊重し

生徒の個性を最大限に

1 一人一人の 生徒が主役

ここでは、「教師が教育を提供する側、生徒は教育を受ける側」ではありません。「教師も生徒も、一緒に教育を創る側」。生徒一人一人の「こんな学校にしたい」「こんな授業にしたい」という思いが、この新しい学校を創ります。



(学びの促進者)
先生はファシリテーター! 授業の主役は生徒です。



学びは生徒のもの

HIGA 生徒会長
藤川 空風
Kufu Fujikawa



普段の学習では、生徒同士のグループワークを重視した授業や、自分の知りたいことを探究できる探究型の課題が行われます。例えば、理科の実験レポートでは、調べたいテーマを自分で選択し、自分で実験の計画を立て、実験結果をもとにした考察を行います。また、生徒会活動や様々な学習体験においても、生徒が主役です。生徒会活動では「全校生徒が委員会に所属」して、「生徒が中心となり」話し合いを進めます。HIGAでの学びはあなたのためにあります。ぜひ一緒に学びましょう!



一人一人の「知りたい」
という思いから自発的に研究

一人1台のICT端末を用いて、いつでもどこでも学びを深めます。

2 失敗こそ最高の学び

「正解」か「不正解」かしかない「テスト」ではなく、「成功」も「失敗」もある「プロジェクト」へ。「不正解」は人が決めます。しかし、「失敗」は自分自身が決めるもの。大切な「成長のきっかけ」である「失敗」を、子供たちから取り上げる「過保護な教育」は、この学校では行いません。

FAILURE
TEACHES
SUCCESS



生かす学習環境

ここで学び、身に付けたスキルは
世界中の様々な場所で生かすことができます。
このスキルは生徒たちの活躍のチャンスを増やしてくれます。

3 社会全体が 私たちの学び舎

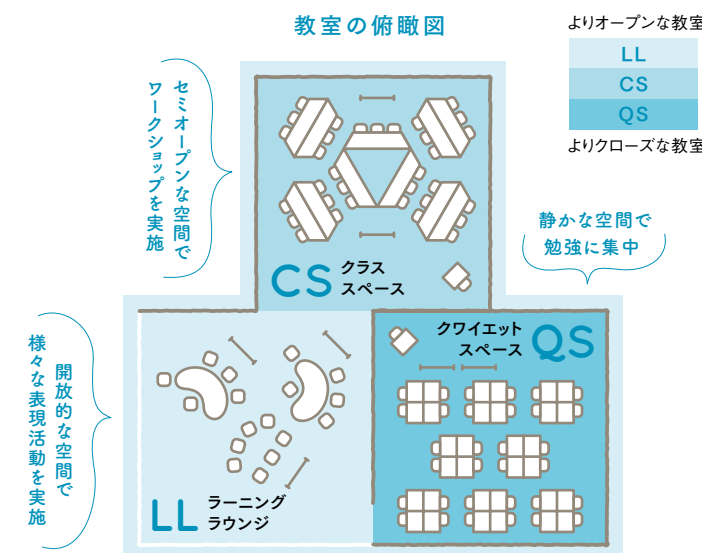
私たちの学びの場は、学校内だけではありません。「社会全体が私たちの学び舎」を合い言葉に、積極的に学校の外に飛び出し、様々な場所で学びを深めます。

瀬戸内海は最高の教材 山・海に囲まれた最高の自然環境や、そこで暮らす地域の人から様々なことを学びます。



4 多様な学習を 可能にする学習環境

普通、「教室」は、四方が囲まれた閉鎖的なもの。でも、この学校の教室は、家という「リビング」です。オープンな環境の中で、リラックスして学ぶことができます。一人1台のICT端末、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙など、生徒たちの Collaboration、Innovation、Creation を支える環境が整っています。

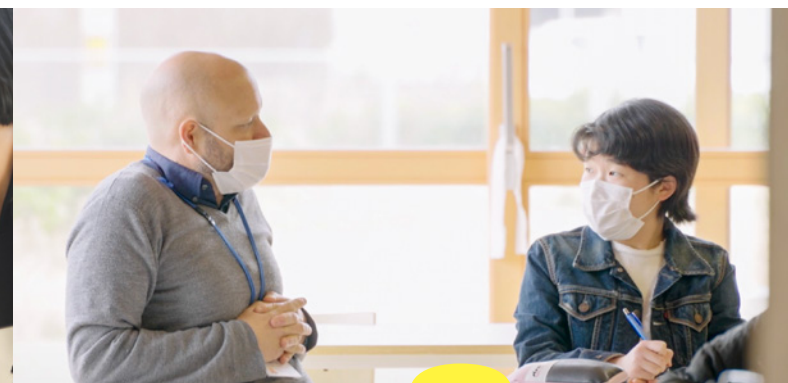


様々な授業スタイルに対応できる3タイプの教室

生徒のワクワクの
気持ちを大切に

6年間を通して学ぶ“ここ”

でしかできない学習活動



HIGA
ならではの
学習

未来創造科

HIGAで
育てる

生きた英語力の育成



戦争、貧困、環境、エネルギー、食糧、少子高齢化、地域の衰退…。世の中には、たくさんの課題があります。社会で起きている様々な出来事について、「自分たちで課題を設定し、国籍や文化の違いを越えた仲間たちと力を合わせて、課題の解決にチャレンジする」。そして、「テレビや新聞に載っている課題」から、「自分たちの課題」に変える。これが、本校の教育活動の核となる「未来創造科」(Global-Project Based Learning) です。

未来創造科の 4つの視点

- SENSITIVITY 感性
- ETHICS 倫理
- LANGUAGE/EXPRESSION 言語・表現
- SCIENTIFIC THINKING 科学的思考

未来創造科の 3つのテーマ

- WELL-BEING 幸せ
- ENVIRONMENT 環境
- GLOBAL JUSTICE 社会正義

専門家によるワークショップ

様々な分野の第一線で活躍する専門家の方々をお招きします。「課題の見つけ方」「情報収集・整理分析の仕方」「議論の仕方」「アイデアの出し方」「表現・プレゼンテーションの仕方」など、プロジェクトを実行するために必要な多くの理論やモデルを学びます。

議論・フィールドワーク

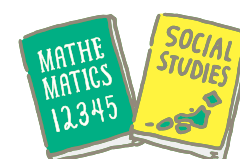
解決策の創造に向けて、国籍や文化の違いを越えた仲間たちとの議論、現地のフィールドワーク、関係者へのインタビューなどを行います。特に中1では、大崎上島を中心としたフィールドワークを行い、自分の言葉で大崎上島や広島を語れるようになることを目指します。

大人たち(ステークホルダー)との協働

生徒たちだけでできる活動は限られています。解決策の実行に向けて、関係する大人たちに自分たちのプロジェクトを説明し、連携や支援について、交渉・調整します。

解決策の実行

「調べてまとめて発表」では終わりません。大切なのは、粗削りでも良いから、実際にプロジェクトを実行すること。きれいにまとめる必要なんてない。たくさん失敗しましょう。「失敗し、振り返り、次のプロジェクトに生かす」。そのプロセスの中にこそ、最高の「学び」があります。



小さな国際社会での生活が始まります。少人数で各自のレベルに合ったHIGAならではの英語の授業と授業以外の放課後活動や寮でも、英語が飛び交います。

“リスニング”から“探究”へ

最初は、リスニングを中心としたインプットと、英語でコミュニケーションをとることのできる雰囲気を作ります。英語力の向上を目標としながら、少しずつ探究的な活動へとつなげていきます。

オンライン英会話

海外にいる講師とマンツーマンで英会話をし、日常会話からアカデミックなトピックについてコミュニケーションを取ります。

多読

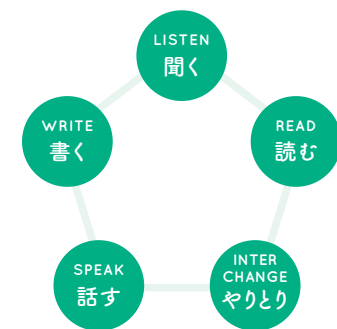
生徒一人一人に合った本を読みます。読んだ後は、オンライン上にあるクイズに答えたり、音読したものを録音して確認をしたりしていきます。

レベルに応じた英語検定を ステップアップの指標に

本校では、年間2回程度、英語力の指標としてケンブリッジ英語検定を用いた外部評価を行っています。DP(ディプロマ・プログラム)開始の高校1年生の冬までに、全生徒がCEFR B2レベル(右図)に到達できるように、生徒は各自の英語力に応じた目標設定を行います。

5つの技能をバランスよく

聞くこと・書くこと・読むこと・話すこと・やりとりをすることの5技能をバランスよく育てていきます。日常会話表現だけでなく、英語で議論したり、論文を書いたりすることができるアカデミックな英語力を育成します。



(出典) プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

C2	実用英語技能検定	C2 Proficiency	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	熟練した言語使用者
C1		C1 Advanced	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	
B2		B2 First / for Schools	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。	自立した言語使用者
B1		B1 Preliminary / for Schools	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。	
A2		A2 Key / for Schools	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地域の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。	基礎段階の言語使用者
A1		A1 Movers / for Schools	自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合っているか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話を、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。	

STUDENT VOICE 生徒の声

HIGAは、生徒がメインとなる授業を行います。授業の中では度々グループワークやディベートなど成り立ちの異なる授業をします！またHIGA独自の未来創造科という科目があり、島民へのインタビューなどと通じ、よりよい未来づくりにしてきます。

HIGAの目の前の大崎海岸では水泳の授業が行われたり、理科の授業で寿山山へ行ったり、扶養入生ならではの島親制度や未来創造科の「卒業インタビュー・インターンシップ」などは大崎上島の自然と島民の方々の支えなしでは成り立たないプログラムです。HIGAは大崎上島の豊かな自然を生かした授業がたくさん展開されています！

HIGAでは海外の方との交流もたくさんできて、英語力がどんどん向上していくのが実感できています!! 学びを通して自分の視野を広げたいからこそ、この学校を選びました。😊

HIGAの授業では、体育や理科、数学にも英語がとり入れられています。これによって、英語を身近に感じるようになりました。英語以外の授業でも英語を学べるということも、HIGAの授業の魅力だと思います。

学校生活を通し、仲間とともに学び、ともに成長する

かけがえのない仲間と

過ごす日々の生活

6年間の共同生活を仲間と過ごすことで「自律心」「多様性と協働」「思いやり」など多くのものが育まれます。

ある平日の学校生活

自分で一日のスケジュールを考え、自己管理能力を培います。

おはよう!

健康観察は、各ユニットのリーダー生徒が中心に行います。



起床

6:30

7:00

点呼・健康観察

朝食

朝食



おいしいご飯で1日頑張ろう
旬の食材を生かした献立で、栄養バランスの取れた食事を提供します。

8:35

8:40

朝の健康観察

午前 授業開始

お待ちかねのランチ!

お昼は給食!班ごとにテーブルについてご飯を食べます。



昼食

12:00

13:25

昼食・掃除・SHR

午後 授業開始

放課後

16:45

放課後

18:00

夕食・学習

就寝

21:00

入浴・自主活動

22:30

点呼・健康観察・就寝

栄養教諭からのことば

“HiGAごはん”で
心と体の成長を



田川 真衣
Mai Tagawa

本校では、週末も含めて、1日3食を校内で調理・提供しています。提供する食事は、栄養教諭が献立を作成し、調理員が学校の食堂の中で調理をしています。親元を離れて生活する生徒にとって、食事は最も楽しみなことのひとつだと考えています。生徒からの感想や食事の様子を見ながら、献立の振り返りと改善を繰り返し、おいしくて栄養満点の食事を追求しています。未来を担う生徒一人一人の健やかな成長を「食」を通してしっかりと支えていきます。

授業



仲間とともに学び合う

生徒の協働的な学びを基盤とする生徒主体の授業が展開されます。学びのフィールドは校内だけでなく、校外にも広がっていきます。



夕食

ここからは寮生活

今日の晩御飯はあじの竜田揚げ。みんなと一緒にだから美味しいね!



入浴

仲間との絆を深める場

ゆとりある大浴場と個室のシャワー室を完備しています。自然と会話が生まれるランドリーラウンジで洗濯と乾燥ができます。



ハウスマスターからのことば

厚みのある
人間になろう



日高 俊英
Toshihide Hidaka

生徒の皆さんには、変化の激しい現代社会の中で、自分が置かれている環境や、自分が求められているポジション、担うべき役割などを的確に捉え、行動することができるような人になって欲しいです。学校・寮での6年間に及ぶ生活の中で、いろいろな経験を積み重ねて、厚みのある人間になれるよう、一緒に頑張りましょう!

STUDENT VOICE 生徒の声

やはり先生との距離が近いということ!! 生徒数も一般的な中学校・高校に比べて少ないため、学習面においても生活面においても個人に向き合ってもらえます。

HiGAで頑張っていることは「計画」を立て勉強することです。HiGAでは多くの問題があるのでそれらの提出期限を正確に計画を立てています。今から身につけておくことで1Bの時期において少し余裕をもてるようにしています。

たくさん課題かざることやあり、プレッシャーを感じることもあります。しかし、そこで諦めたり、嘆いたりするのではなく自分で乗り越えようと頑張っています。そのために手帳を使って計画を立てたり、スキマ時間を活用したりなど自分で「工夫」も行うようにしています。「Time management skill」がしっかり身につきますよ!

買い物に行くだけでも、自転車まで20-30分を走らなければいけず、最初はなかなか慣れずでして。しかし、海はきれい、山も空は広い。島民のみなさんは優しく、買い物は「買い物」を簡単に済ませることができました。大変なことも多いかもしれませんが、それ以上にたくさんの方が、魅力があると感じました。

HiGAは、寮生活なので、学校では学べない日々の生活のスキル(洗たく)なども学ぶことができるので、自分をより成長させることができます。また、学校には外国人の先生と気軽に会話ができるので、英語を身近に感じながら、学ぶことができます。

島は自然はいい人も優しく、歴史がいっぱいあって、とにかくいい所!! ボランティアで行事に関わっていくこともあるからたくさん良い機会になるかも!?

万全のサポートと
セキュリティがある

のびのびと暮らせる

あたたかい空間

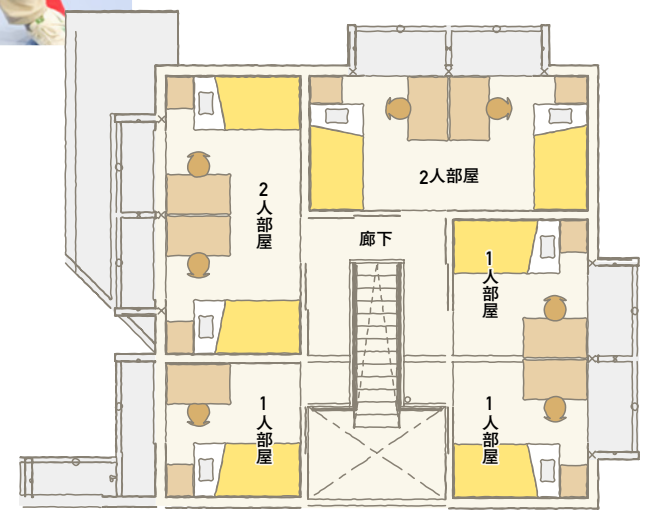
広大な敷地に建つ、木の香りが漂う寮のなかで、寮スタッフに見守られながら仲間とともに学びを深めます。



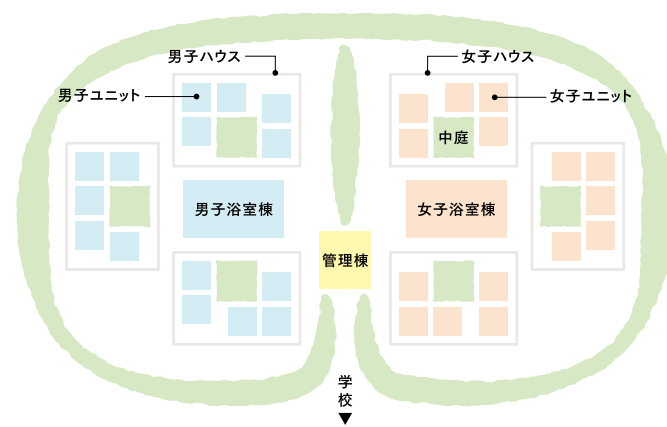
ハウスの1Fの間取り例



ハウスの2Fの間取り例



寮の配置図



※管理棟を境に男子寮、女子寮に別れます。 ※ユニットごとに間取りは異なります。

仲間と家族のように関わるユニット

- 異年齢
- 多国籍
- 共同生活

留学生を含む異年齢・多国籍の集団（ユニット）を構成し、共同生活を送ります。個室と2人部屋があり、各部屋には、落ち着いて学習できるスペースとベッドを完備。また、開放的なリビングでは、ユニットメンバーの交流が自然と生まれます。ユニットでは、高1のリーダー、中3のサブリーダーが中心となって、後輩たちの支援や指導を行います。

ハウスマスターからのことば



日高 未穂
Miho Hidaka

将来の糧となる寮生活を送ろう

これまでとは違う生活環境の中、不安な気持ちや寂しい気持ちになることもあると思います。そんな時は、友だちや周りの大人たちに相談しながら、少しずつ、自分たちの力で解決していけるように、生徒の皆さんと一緒に行動しています。寮生活だからこそできるたくさんの経験が、生徒たちにとって、将来の糧となるよう、きめ細やかにサポートしていきます。

安心・安全な生活を守ります

- サポート
- セキュリティ
- セーフティ

「ハウスマスター」又は「ハウスサポーター」が学校敷地内に常駐します。また、教員も宿日直として生徒を見守るなど、サポート体制には万全を期しています。

寮スタッフが常駐する管理棟を通過しなくては、寮がある「生活エリア」には入れません。また、男子寮と女子寮の間を行き来することはできません。寮周辺は仕切りや赤外線センサーで取り囲み、防犯カメラや電気錠のゲートを設置するなど、安心・安全な環境を整えます。

津波や高潮への対策には万全を期しており、予想される最大レベルの数段上の対策を施しています。また、各ユニットには、人数分の防災セットを常備しています。島内には、5つの内科、1つの外科病院があり、日常的な病気やけがには十分対応可能です。万一の事態には、救急艇やドクターヘリが稼働します。

STUDENT VOICE 生徒の声

寮にはハウスマスターさんやサポーターさんがいらっしゃいます。勉強を教えてくれたり、相談にのってくれたりしてくれています。辛いことがある寮生活も、マスターさんなどの支えが、安心して頑張ることが出来ます。

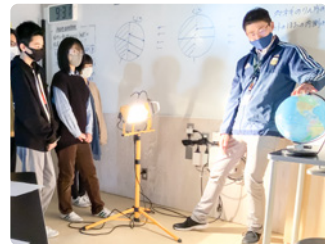
始めは、家から離れる不安、慣れない寮生活で大変なことが多いと思います。でも、それを乗り越えると「自分の生活を自分で作りあげていく楽しさ」や「友達との楽しい生活」に気づくことが出来ると思いますよ!! 皆さんと寮で生活できる日を楽しみにしています!!

寮生活も寮行事もかなり充実していて、世界の郷土料理をユニット別に作ってシェアする『World culture day』やくじ引きで決まったグループで夕食をとったり、交流を図るブレンドデー(学校の委員会の取り組み)・先生方も仮装をして参加するハウスマスター・クリスマスパーティーなどが、今般生徒の主体的な動きによって企画されてきました。このような取り組みにも、寮生活だからその良さが反映されています。

寮生活は、学校生活に比べて圧倒的に友達と過ごす時間が長いと思います。長い時間一緒にいると、友達の良い所がたくさん見つけ、て、きずなが深められるという魅力があります。また、寮の日曜日は基本フリーなので、どのように過ごすかは、個人にゆだねられます。課題の量や自分の体調と相談して決めると、セルフマネジメントスキルがつくと思います。

大崎上島の 美しく豊かな 自然の中で学ぶ

多島美や自然の豊かさから、海外からも注目を浴びる瀬戸内海。そのほぼ中央に位置する大崎上島に、本校は誕生しました。豊かな自然に囲まれ、のびのびとした全寮制のキャンパスは、生徒の知的好奇心や感性を育みます！



①サイエンスセンター
知的好奇心を刺激する、実験や演習を通じた探究活動空間。



②F.L.A(フレキシブルラーニングエリア)
特別教室棟のF.L.A。プレゼンテーションやワークショップなど、様々な表現活動を行う多目的な活動空間。



③アート&クラフトセンター
感性を磨く、ものづくりを重視した表現・創造活動空間。



④メディアセンター
グローバルアカデミーの「知」の拠点。多様な集団による協働・創造活動を支援。



⑨グラウンド
海岸沿いの広大なスポーツエリア。



⑩テニス・バスケットコート
テニスコート3面、バスケットコート1面を完備。



⑪体育館
木の温もりに包まれたスポーツ空間。



⑫小体育館
独創的でアクティブな活動空間。武道からダンス、ヨガなど、多目的に活用。



⑤教室棟
多様な意見が自由に飛び交う、ディスカッションに適した協働活動空間。



⑥F.L.A(フレキシブルラーニングエリア)
教室棟のF.L.A。どんな活動にも柔軟に対応、生徒の動線上にある多目的な活動空間。



⑦学びの回廊
グローバルアカデミーのシンボル。授業の合間、生徒たちが語らう憩いの場となります。



⑧職員室・事務室
多国籍なスタッフが常駐。生徒の学園生活を温かくサポート。



⑬寮ハウス
異年齢・多国籍の仲間と暮らす、メゾネットタイプの快適な居住空間。



⑭カフェトリウム
コンサートやミュージカルも開催!ホールも兼ねた開放的な食事空間。



⑮カフェテリア
自然に会話が盛り上がる空間。家庭科室のほか和室等も完備。



⑯集いの広場
多様な交流が新たな価値を創出。インベーションを生み出す源泉。

寮生活を通し、仲間とともに学び、ともに成長する

人も自然も 魅力いっぱいの大崎上島

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大崎上島。島外の方は、まずは是非一度、ご家族でお越しください。本州から島までは、約30分のフェリーの旅。島内の神峰山から見える多島美は、きっと忘れられない景色になることでしょう。



大串海水浴場

白い砂浜が約1kmも続く外浜海岸に隣接する風光明媚なロケーション!



大自然を味わいつくす

海水浴・シーカヤック・キャンプなど大自然でのアクティビティを満喫できます!



瀬戸内の多島美を一望

瀬戸内海国立公園に指定されている神峰山(標高453m)からは瀬戸内海に浮かぶ大小115の美しい島々が眺望できます!



温暖な島の「うまいもん」

季節になれば、瀬戸内の太陽をいっぱい浴びたレモン・みかん・ブルーベリーなどがたわわに実り、フルーツの優しく甘い香りに包まれます。



夏を彩る伝統と祭り

200年の歴史を持つ伝統行事「權伝馬競漕(国土交通省「島の宝100景」)や夜空と海面に映える幻想的な花火は圧巻です!



教育環境

島内には小学校3校、中学校1校のほか、県立大崎海星高等学校や三原特別支援学校大崎分教室、国立広島商船高等専門学校があります。



ゆったり温泉で癒される

眼前に広がる瀬戸内海の大パノラマを堪能しながら、のんびりゆったり絶景露天風呂で癒されます。

自動車	広島IC - 約30分 - 河内IC - 約20分 - 竹原港 - 約30分 - 垂水港・白水港 山陽自動車道 / 1,220円 国道432号線など フェリー / 2,670円
	広島IC - 約25分 - 高屋IC - 約20分 - 安芸津港 - 約35分 - 大西港 山陽自動車道 / 1,050円 国道32号線など フェリー / 2,670円
公共交通機関	広島バスセンター - 約85分 - 竹原港 - 約30分 - 垂水港・白水港 高速バスかぐや姫号 / 1,350円 フェリー / 350円・360円
	広島駅 - 約80分 - 安芸津港 - 約35分 - 大西港 JR / 990円 フェリー / 390円

大崎上島観光ナビはこちら▼
<http://osakikamijima-kanko.moon.bindcloud.jp/navi/>



バス・フェリーの乗り場・時刻表等や、車でのアクセスについてはこちら▼
<http://osakikamijima-kanko.moon.bindcloud.jp/navi/about/access.html>



広島空港⇒竹原港	バス約30分	7便/日
広島駅⇒竹原港	バス約70分	14便/日
広島バスセンター⇒竹原港	バス約85分	14便/日

竹原港⇒垂水港・白水港	約30分	32便/日
安芸津港⇒大西港	35分	16便/日
大崎下島⇒明石港	15分	12便/日
今治・宗方港⇒木江港	約70分(今治~) 15分(宗方~)	6便/日

町内循環バス	16便/日
路線バス 大串⇄大西港・明石港	8便/日

●交通状況等により、所要時間が大幅に変更になる可能性や、上記が最短のルートとはならない場合があります。事前にご確認ください。●料金については、片道料金を表記しております。料金は変更となる可能性があります。●自家用車については、普通自動車(4m以上5m未満)で計算しています。●高速料金は平日通常料金を記載しています。

学校概要

設置形態	併設型中高一貫教育校
課程・学科	全日制課程普通科
学期	3学期制
学校規模	中学校：1学年 40人 ※授業は基本的に1クラス20人程度で実施
寄宿舎	設置（全寮制）
卒業資格	日本の高等学校卒業資格 国際バカロレア（IB）資格

学費・寮費

	中学校	高校
授業料 ^{*1} 月額	—	9,900円
諸費 ^{*2} 月額	1.7万円程度	1.8万円程度
寮費 ^{*3} 月額	3.4万円程度	3.4万円程度
月合計 ^{*4}	5.1万円程度	6.2万円程度

※1 授業料について、中学校は無償です。高校については、一定の収入額未満の世帯の生徒に対しては、高等学校等就学支援金として、授業料相当額が支給されます。

※2 諸費には、教育活動費（教材費、英語に関する外部検定試験の受験料、パソコン等購入費、学習に関するオンラインプラットフォームの使用料等）や設備使用料（空調費等）が含まれます。

※3 寮費には、食費、光熱水費、共益費、活動費などが含まれます。

※4 諸費及び寮費は見込額であり、今後変更となる場合があります。

その他のご負担

- ・高等学校入学金（5,650円）
- ・学用品費等（楽器、グラフ電卓等、教科書〈高校のみ〉）
- ・プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等（海外の場合も含む）

※学用品費等の具体的な金額については、入学予定者説明会において、お知らせいたします。

※プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等の具体的な金額は、生徒たちが決定する学習活動の内容によって異なります。

保護者負担の軽減に関する各種支援制度があります
詳しくは、広島県教育委員会へお問い合わせください。

入学までのスケジュール

出願書類等受付	令和3年10月25日（月）～11月5日（金）
第1次選抜	令和3年11月21日（日）
第2次選抜	令和3年12月24日（金）～12月26日（日）
合格者発表	令和4年1月7日（金）
入学予定者説明会	令和4年2月12日（土）
入学式	令和4年4月

※第1次選抜、第2次選抜いずれも、広島県内で実施します。

※第2次選抜は、第1次選抜の通過者を対象として実施します。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入学者選抜の内容等の見直しを行う場合があります。

生徒募集

応募資格	次のいずれかに該当する方が出願できます。 ①令和4年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者又は義務教育学校の前期課程を修了する見込みの者 ②令和4年4月に中学校又はこれに準ずる学校の第1学年への入学対象となる者
募集人数	40人
検査の内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">第1次選抜</div> 適性検査・面接を実施する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">第2次選抜</div> 2泊3日の共同生活においてグループワーク・面接・振り返り文作成を実施する。 ※第1次選抜、第2次選抜とも、「英語力」については検査しません。

※詳細については、「入学者選抜実施要項」（9月公表予定）にて、お知らせします。

※広島県外在住の方も出願できます。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入学者選抜の内容等の見直しを行う場合があります。

よくあるご質問

Q. 制服はありますか？

A. あります。入学式や卒業式などの式典や、学校が指定する活動において、次の制服を着用します。
春秋冬用制服として、ブレザージャケット（紺色）、夏用制服として、半袖ポロシャツ（白色、ポケット付）があります。なお、ズボンやスカートは原則として自由です。また、式典等の日以外の、日常の授業や寮生活においては着用は義務ではありません。

Q. 帰省・外出できるのですか？

A. 必要な手続きをとった上で帰省・外出することは可能です。
週末は、門限の制約等の一定のルールのもと、基本的には外出可能です。
GW・夏休み・冬休み・春休み等は一言に帰宅をすることとしています。（交通費は、ご家庭の負担となります）

Q. 生徒に会うために保護者が学校に行けますか？

A. 保護者の方をお招きする学校行事等の機会には、是非お越しいただきたいと考えています。
週末などについては、事前にご連絡をいただくなどの一定のルールのもと、お越しいただくことは可能です。
お車で越しの際は、校内の来客用駐車場をご利用ください。

Q. 電話やメールなどで、生徒と連絡を取ることは可能ですか？

A. 可能です。
携帯電話・スマートフォンについては、使用時間の制限等の一定のルールのもと、寮においては使用することができます。

Q. 食物アレルギーへの対応はありますか？

A. あります。
文部科学省の食物アレルギー対応指針に沿って対応しております。安全性を最優先に完全除去対応を基本としております。

Q. 現在、日本の小学校ではなく、インターナショナルスクールに通っているのですが、受検することは可能ですか？

A. インターナショナルスクールに通っておられる場合は、個別にご相談ください。
なお、本校への出願資格は、令和4年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者又は義務教育学校の前期課程を終了する見込みの者か、令和4年4月に中学校又はこれに準ずる学校の第1学年への入学対象となる者です。

\ HiGA生より /

未来の第4期生のみなさんへ

HiGAでの学びでは、毎日新しい発見がたくさんあります。仲間と協力し合って、課題を解決したり、自身が身につけたことを、仲間に教えてあげたり、毎日、学びを創造し、新しい発見を楽しんでいます!!

Let's make learning community together ☺

私が考えるHiGAの魅力は、学習環境です。

大崎上島の豊かな自然とあたたかい地域の人々に囲まれているため、海での授業や地域の人々との交流など、「教室」という限られた空間の外でも、様々な「学び」があります。また、1人1台のデバイスと校内のWi-fi環境により、調べ物やオンラインの交流会に参加することができ、学びを深めることができます。

6年間 HiGA生活を送る寮には、お母さん、お父さんはいません。そんな環境の中心

自ら洗濯・掃除、勉強までするなんて不安だらけだと思います。

でも、そんな普通では経験できない様なことをHiGAで経験して行くことで、自分に自信が着くと思います。もし立ち止まってしまうHiGAには先輩が先生方がたくさんいます。ぜひ頼りにしてください。みなさん、たくさん経験ができることを楽しみに待っています!!

ユニットの中には、様々なバウワウ「ラウンジ」を持ち、生徒が集まっているので、生活している中で新しい発見がたくさんあります。生活をする上で、大変なこともたくさんありますが、友達と楽しく、充実した生活が送れています。



広島
県立

広島叡智学園
中学校・高等学校

HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY Junior & Senior High School

お問い合わせ

☎ 0846-67-5581 □ <https://higa-s.jp/>

〒725-0303 広島県豊田郡大崎上島町大串 3137-2

📧 @higa.ed.jp



広島県の「学びの変革」を応援しませんか？

広島叡智学園への寄附をお願いします。

学びの変革 寄附 検索

広島版「学びの変革」推進寄附金は、ふるさと納税の対象となります。詳しくは「広島県教育委員会」HPをご覧ください。